

1. パブリックコメント実施概要

◆意見募集期間

令和4年11月25日（金）～令和4年12月26日（月）

◆意見応募用紙等の配布箇所

- (1) スポーツ振興課 (2) 各区市政情報コーナー (3) 静岡市ホームページ
 (4) 市有スポーツ施設（市立体育館、清水清見潟公園スポーツセンター、清水総合運動場、清水ナショナルトレーニングセンター）

◆提出方法

郵送、FAX、持参及び電子申請

2. パブリックコメント回答者の属性

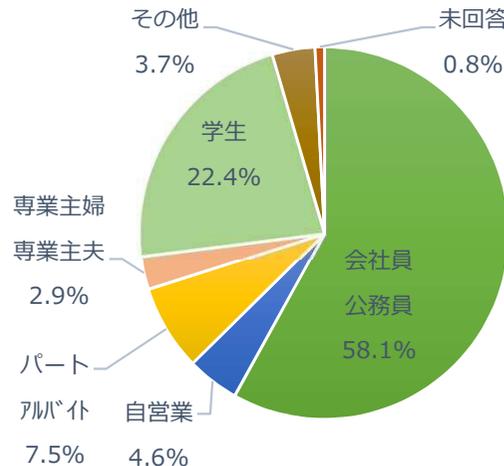
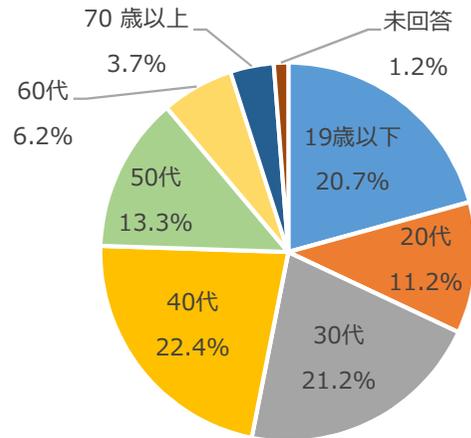
◆意見提出者数 241人

(1) 回答者の年代

19歳以下	50人	50代	32人
20代	27人	60代	15人
30代	51人	70歳以上	9人
40代	54人	未回答	3人

(2) 回答者の職業

会社員 公務員	140人	専業主婦 専業主夫	7人
		学生	54人
自営業	11人	その他	9人
パート アルバイト	18人	未回答	2人



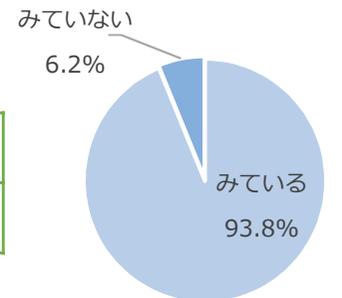
(3) スポーツを「する」人

している	171人
していない	70人



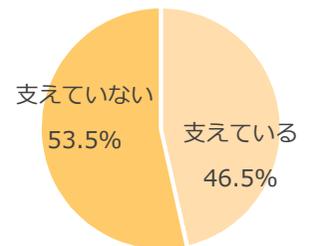
(4) スポーツを「みる」人

みている	226人
みていない	15人



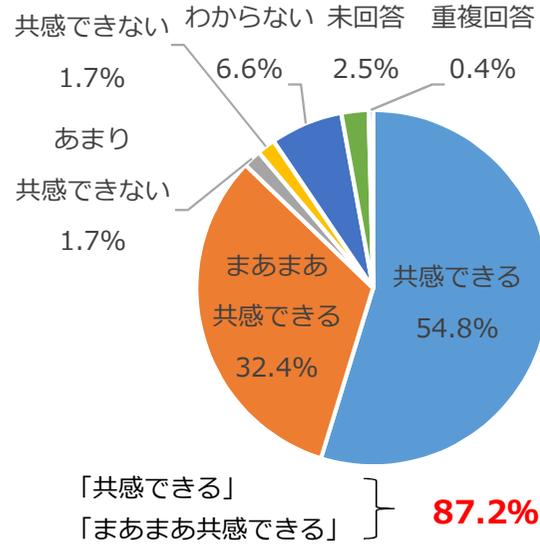
(5) スポーツを「支える」人

支えている	112人
支えていない	129人



3. 計画案について、どのように思ったか

共感できる	132人
まあまあ共感できる	78人
あまり共感できない	4人
共感できない	4人
わからない	16人
未回答	6人
重複回答	1人



<記載内容の抜粋>

- ◆「共感できる」の主な意見
 - ・様々な形で様々な角度からスポーツと関わる施策がある。
 - ・スポーツはただの個人的な娯楽や健康増進にとどまらず、人の繋がりをもたらし、地域の活性化に役立つという考え方に共感できる。
- ◆「まあまあ共感できる」の主な意見
 - ・内容に関しては良いと思うが、目新しさやインパクトがある施策とは感じられない。
 - ・計画について共感できるが、スポーツに関わる機会が少ない人達のすそ野の部分についての取り組みが分かりにくいように感じた。
- ◆「あまり共感できない」の主な意見
 - ・静岡市は気軽にスポーツができる環境であると感じたことが一度もないため、あまりにも計画と実情が乖離している。
- ◆「共感できない」の主な意見
 - ・具体的ないつまでに何をするかという形が見えてこない。

4. 計画案やスポーツ全般に対する意見や期待すること

主な意見（一部抜粋）

意見に対する回答

「誰でも参加できる」というのはとても重要だと思うが、内容を考えるのは難しい。ライフステージやライフスタイルによって適した運動強度などは違うため、どのようなものになるのか期待したい。

基本方針1柱1「ライフスタイルに応じたスポーツの推進」にて、ライフステージごとや多様な世代で楽しむスポーツ教室を開催します。

部活動が地域移行され、学校教員が教えることが少なくなり、地域でのスポーツが活発になるようだが、熱心に打ち込みたい生徒は活発になる一方、運動を気軽に楽しみたいという生徒の運動機会が減ってしまう気がするが、各々あったスポーツ機会をどのように増やすのか。

基本方針1柱1「ライフスタイルに応じたスポーツの推進」にて、部活動改革の推進するとともに、柱2「スポーツを通じた地域・他分野等との連携」にて、地域や他分野との連携・協働し、生徒を含め、市民が気軽にスポーツができる機会を創出します。

スポーツが苦手な人でも、身体を動かしたくなるような仕組みがあると良いと感じる。スポーツイベントについても、より時代のニーズに合ったものを実施すると良いと感じる。

基本方針1柱1「ライフスタイルに応じたスポーツの推進」にて各種スポーツ教室を実施するとともに、基本方針2柱1「スポーツを支えるための場づくり」にて、市民のニーズをふまえたスポーツを楽しむためのイベントを開催します。

アリーナのような大きいホールを作り、誰もが気軽にスポーツなどを観戦できる施設を作った方が良いと思う。国際的なスポーツ観戦のできる規模のスタジアムが静岡市にできることを期待する。

基本方針2柱1「スポーツを支えるための場づくり」にて、スポーツ施設等の整備として、サッカースタジアムやアリーナ整備等を検討していきます。

プロ選手と市民の交流の場を増やして、観る機会をもっと増やしてファンを獲得し、チームが強くなっていくことで経済効果が期待できると思う。

基本方針3柱2「ホームタウン活動の推進」にて、ホームタウンチームと連携・協働した事業を推進するとともに、基本方針2柱1「スポーツを支えるための場づくり」にて、スポーツ観戦がしやすくなるよう、スポーツ施設の整備等を行います。

スポーツ実施率を向上させるために必要な阻害要因の排除等はスポーツ推進計画だけでは難しく、他の計画等との連携が必要ではないかと思ったが、その点について触れているところがなかった。

本計画第1章の2「計画の性格」中に、連携がある他事業の計画について、記載を追加し、関係する他分野の施策と連動してスポーツを推進します。